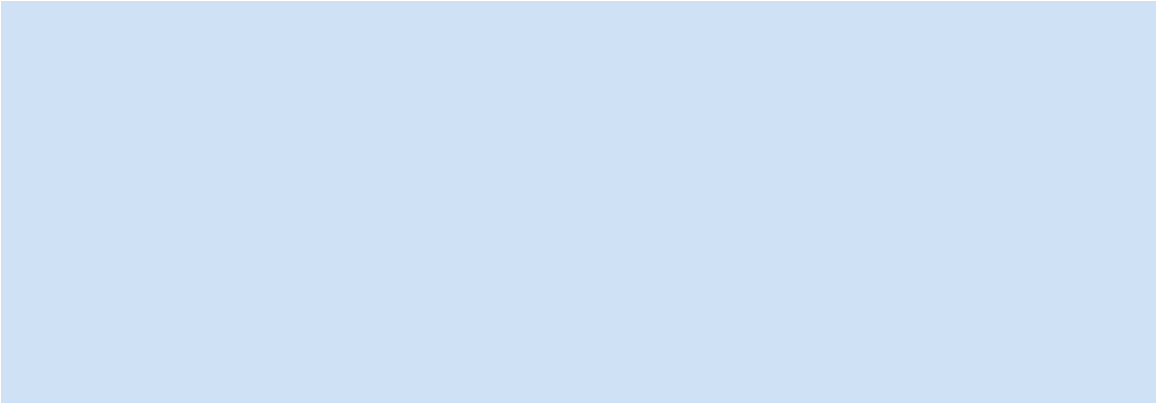


IV 地域別構想

1

地域別構想とは

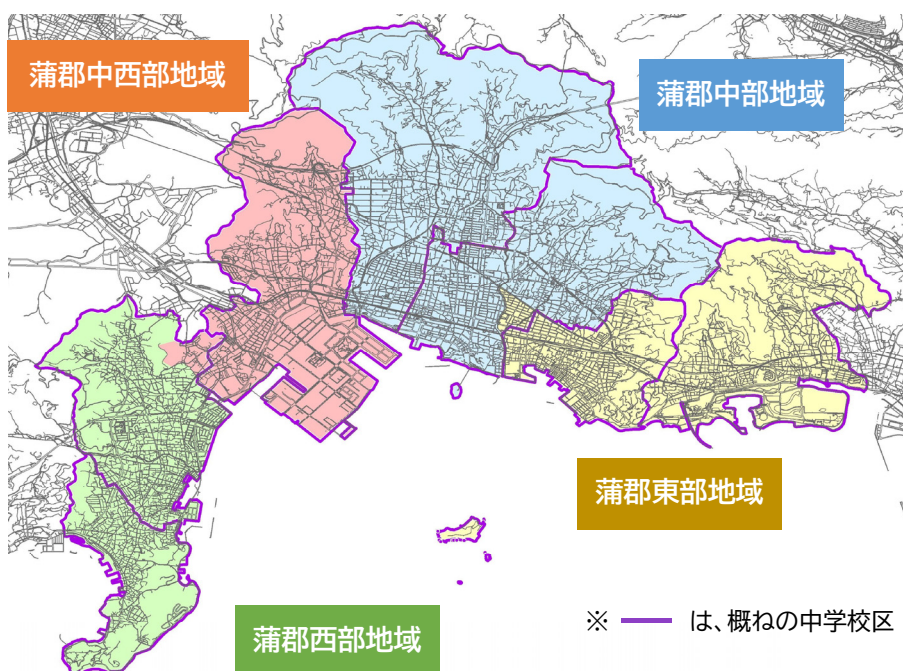
地域別構想は、全体構想で示した、まちづくりの基本理念や将来都市像、分野別の方針を踏まえて、地域ごとの特性や課題に対応した、各地域で固有の取り組み内容を定めるものです。

各地域における土地利用や地域資源の特色を踏まえて、これらを活かしたまちづくりを推進するため、地域別構想を定めます。

2

地域区分の設定

都市計画マスタープランでの地域は、まちづくり活動や市民にとっての認識しやすさを考慮したうえで、土地利用や都市施設の状況、類似性、生活圏、地域のまとまりなどを踏まえ、「蒲郡東部地域」「蒲郡中部地域」「蒲郡中西部地域」「蒲郡西部地域」の4つの地域を設定します。



地域	R2 総人口 (人)	R2年齢階層人口（人）			年齢階層別の人口割合			面積 (ha)
		年少 人口	生産年齢 人口	老年 人口	年少 人口	生産年齢 人口	老年 人口	
蒲郡東部	17,754	2,104	10,306	5,344	11.9%	58.0%	30.1%	1,205
蒲郡中部	30,721	3,991	17,997	8,733	13.0%	58.6%	28.4%	2,370
蒲郡中西部	10,628	1,252	6,498	2,878	11.8%	61.1%	27.1%	1,038
蒲郡西部	20,435	2,337	11,405	6,693	11.4%	55.8%	32.8%	1,079
合計	79,538	9,684	46,206	23,648	12.2%	58.1%	29.7%	5,692

3

地域別の方針

3-1 蒲郡東部地域

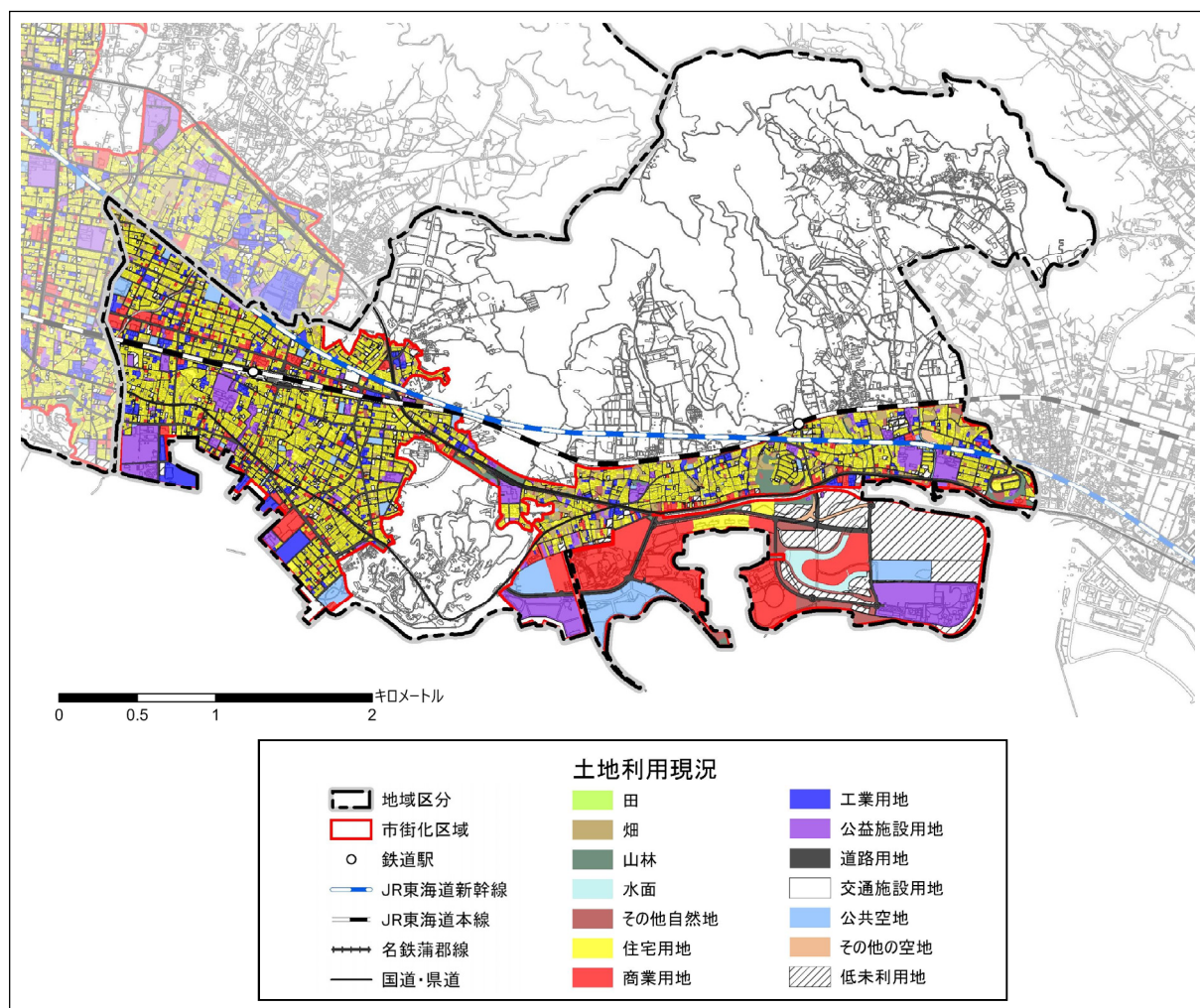
（1）地域の概要

南東部には海と一体となった広域的な集客施設などがあり、また、北部は農地や山地が広がる自然が豊かな地域です。

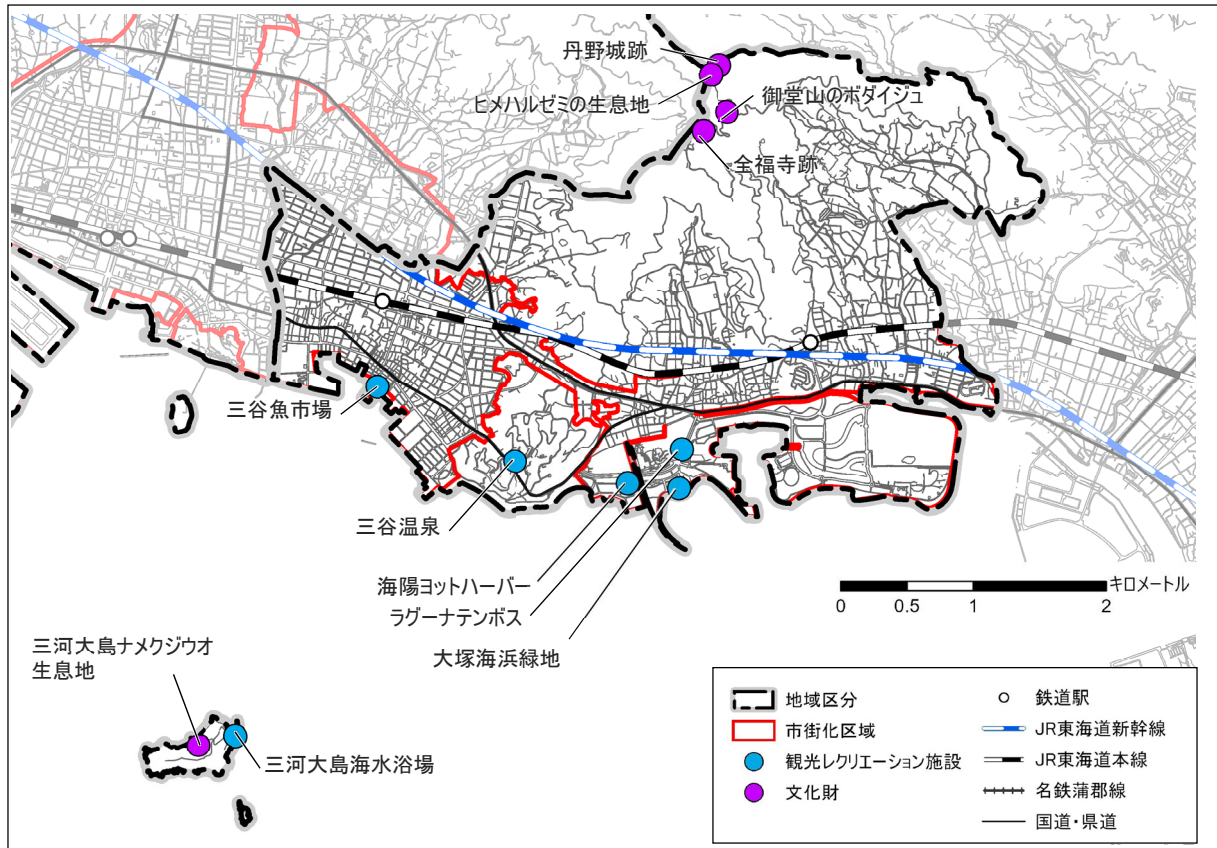
海陽町には、ラグナシア、フェスティバルマーケット、マリナー、ヨットハーバーなど、市内で最も来訪者が多い県内においても有数の観光レクリエーション施設があります。そのほかにも、三谷温泉や市指定無形民俗文化財にも指定されている三谷祭が開催されるなど、観光とレクリエーションに特徴がある地域です。



■土地利用現況図



■主な地域資源



（２）地域で誇りに思う「モノ」や「コト」

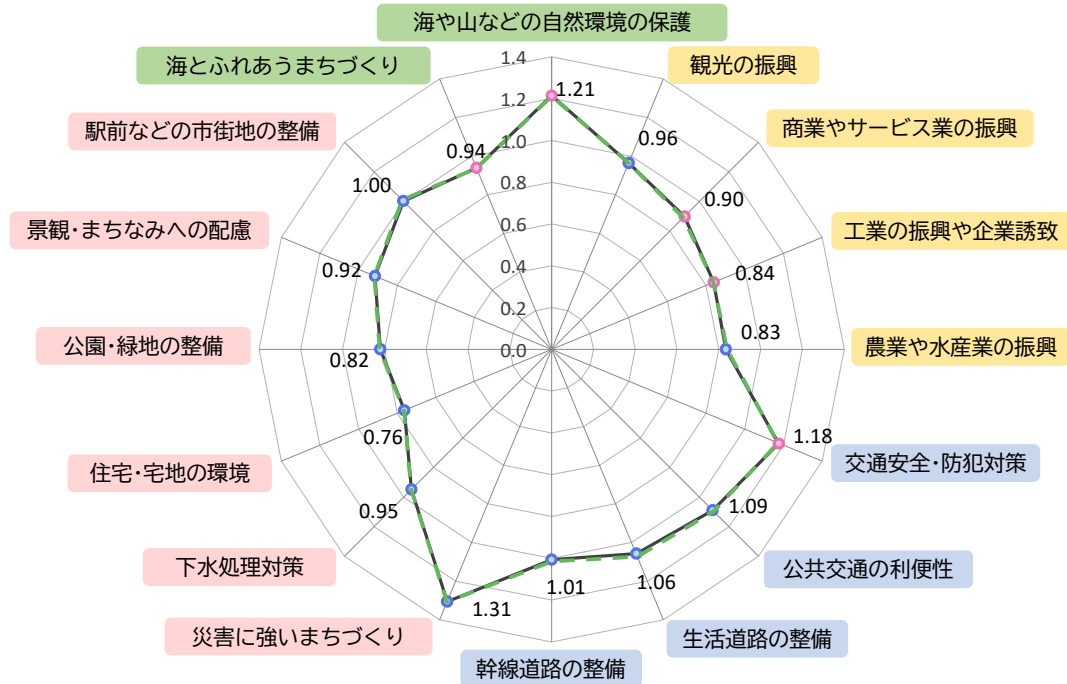
- ・豊かな自然環境（海・山）、三河大島
- ・自然景観・夜景
- ・ラグーナテンボスやラグーナビーチ
- ・三谷祭

資料：令和３年度蒲郡市のまちづくりに関するアンケート

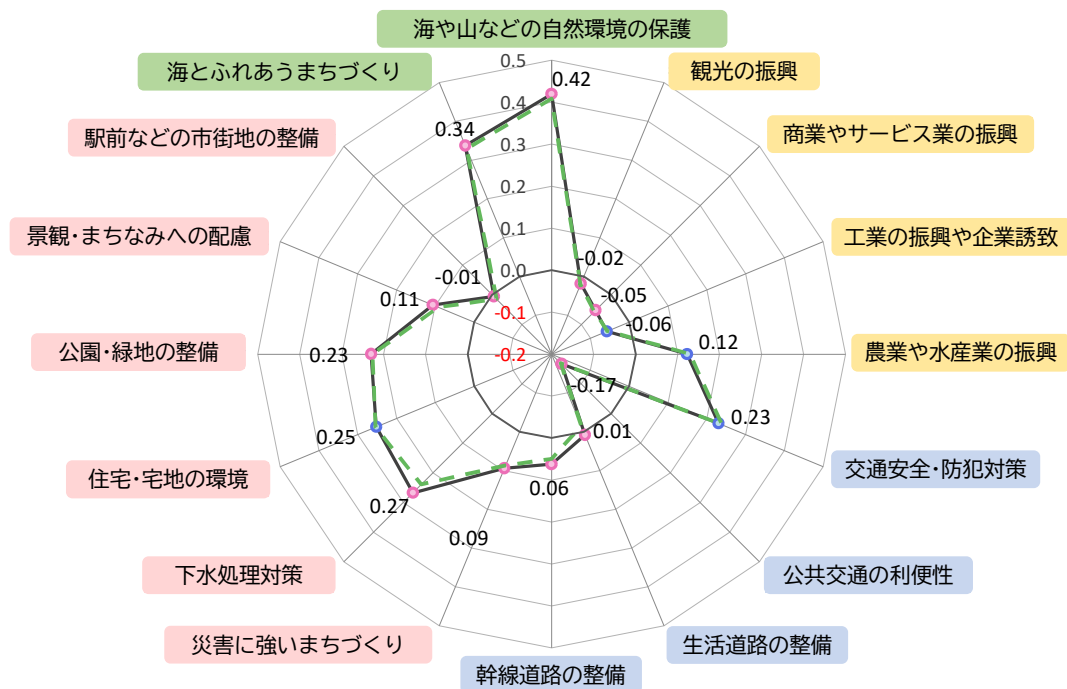
（３）市民ニーズ

- ・市全体と比較して、「住宅・宅地の環境」の重要度・満足度が低くなっています。
- ・市全体と比較して、「海や山などの自然環境の保護」や「海とふれあうまちづくり」の重要度・満足度が高くなっています。

■まちづくりに対する重要度（市全体との比較）



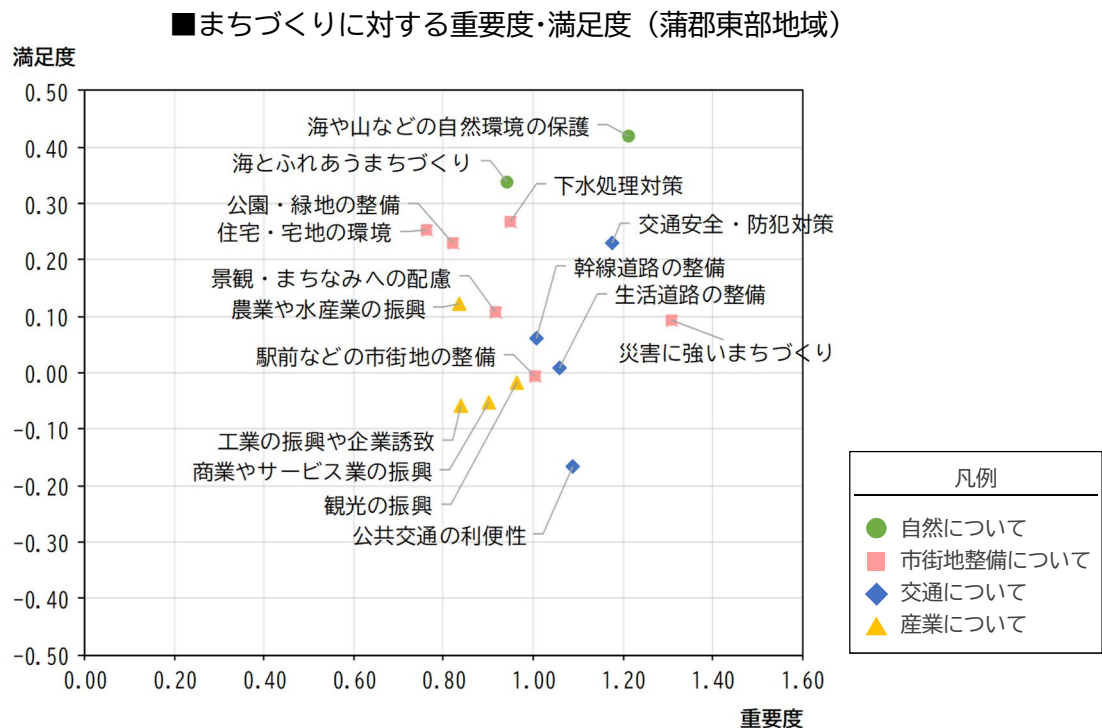
■まちづくりに対する満足度（市全体との比較）



● — : 市全体よりも評価の高い項目
● — : 市全体よりも評価の低い項目
— : 市全体

資料：令和２年度蒲郡市市民意識調査

地域別構想（蒲郡東部地域）



※まちづくりに対する重要度・満足度の値の算定方法は、資料集（第3章）を参照

資料：令和2年度蒲郡市市民意識調査

（４）地域の課題

地域の特徴のうち、全体構想で掲げたまちづくりの目標に対して、プラスの要素を地域の強み、マイナスの要素を地域の弱みとしてとらえたうえで、この地域での課題を設定します。

地域の強み	地域の弱み
・ラグーナ蒲郡地区にラグーナテンボスや海陽ヨットハーバーなど、海と一帯となった広域的な集客施設が立地 ・三谷温泉や三谷祭といった観光資源 ・さがらの森といった自然と触れ合える空間	・三河大塚駅周辺やラグーナ蒲郡地区に低未利用地が分布 ・国道247号などの幹線道路の混雑 ・都市計画公園の空白地域が広がる

地域の課題
・多様な集客機能を活用した地域経済の活性化 ・低未利用地などの有効活用 ・自然を活かした生活環境の改善

（５）地域づくりの目標

地域の概要・市民ニーズ・課題を踏まえて、地域づくりの目標を設定します。

●快適に生活できる住環境づくり

- ・周辺に広がる身近な自然と調和した、安全・快適に生活できる住環境を形成します。

●ラグーナ蒲郡地区における広域交流機能の強化

- ・ラグーナ蒲郡地区の海に開かれた立地特性や広域的な集客施設を活かし、観光やレクリエーションの広域交流機能を強化します。

●自然・温泉などを活用した賑わいの創出

- ・三谷温泉、地域南部の海岸・漁港、地域北部の豊かな自然などを活用し、観光交流や人流促進により賑わいを創出します。

（６）地域づくりの方針

目標達成へ向けた地域の方針を設定します。

①土地利用

- ・ラグーナ蒲郡地区においては、地権者で構成するラグーナ蒲郡地区まちづくり協議会を中心に議論を深め、地区の特性に対応した計画的なまちづくりに必要な土地利用規制を活用することで、臨海部の特性を活かした、親水性の高い海に開かれた空間づくりを推進します。
- ・住工混在が顕著な区域については、住工隣接による利便性にも配慮しつつ、居住環境・操業環境双方の改善につながる取り組みを検討します。
- ・（都）海岸線及び（都）衣浦蒲郡線などの沿道地区において、住宅と調和した商業機能の増進を図ります。
- ・三河大塚駅北側の農地については、ほ場整備による農業基盤の強化や観光農園などによる遊休農地の活用といった、農業地域の保全・整備を図ります。

②都市交通

- ・市内の交通渋滞を緩和し、産業経済活動の持続的な活性化を図るため、広域的な幹線道路である（都）名豊道路(国道 23 号蒲郡バイパス)の事業主体である国と協力し、令和 6 年度の全線開通を促進します。
- ・（都）名豊道路(国道 23 号蒲郡バイパス)の(仮称)金野インターチェンジからラグーナ蒲郡地区へのアクセス利便性を確保するため、（都）大塚金野線の整備を促進します。

- ・(都)名豊線(国道 247 号中央バイパス)、(都)海岸線(国道 23 号)などの整備を促進するとともに、(都)星越線などの整備を推進し、市街地内外の交通を円滑に処理する幹線道路ネットワーク形成を図ります。
- ・三河大塚駅前広場については、観光施設などへのアクセス拠点としての整備を検討します。
- ・観光・リゾート拠点の連携強化につながる、歩道やサイクリングロードの適切な配置・整備を検討します。
- ・児童・生徒の安全を確保するため、通学路での安全確保の取り組みを検討します。

③都市環境

1) 公園緑地

- ・星越公園については、全面整備についての検討を行います。
- ・大塚地区については、公園緑地の整備の今後のあり方について検討を進めます。
- ・さがらの森・里山橘丘緑地・原山については、自然環境や地域の個性を活かした空間の形成に向けて、市民と行政の協働による整備・保全を推進します。
- ・地域北部の自然環境を活かした、丘陵地を散策できる空間の整備を検討します。

2) 港湾・漁港・海岸施設

- ・丸山海岸、星越海岸、三谷漁港の周辺は、海岸や干潟などの保全に向けた整備を推進します。

3) 河川

- ・山間部の河川については、ホタルなどの生態系に配慮した維持・管理を推進します。

4) 下水道

- ・海陽ポンプ場(大塚污水中継ポンプ場)は、計画的かつ効率的な管理・更新や、能力・機能向上を図ります。

5) 景観形成

- ・ラグーナ蒲郡地区においては、法的な規制、誘導施策の活用により、良好なリゾート環境と都市景観の整備を推進します。
- ・三谷温泉周辺地区においては、自然環境の保全に努めるとともに、公共施設整備における景観への配慮を含めた、景観向上に向けた取り組みを推進します。

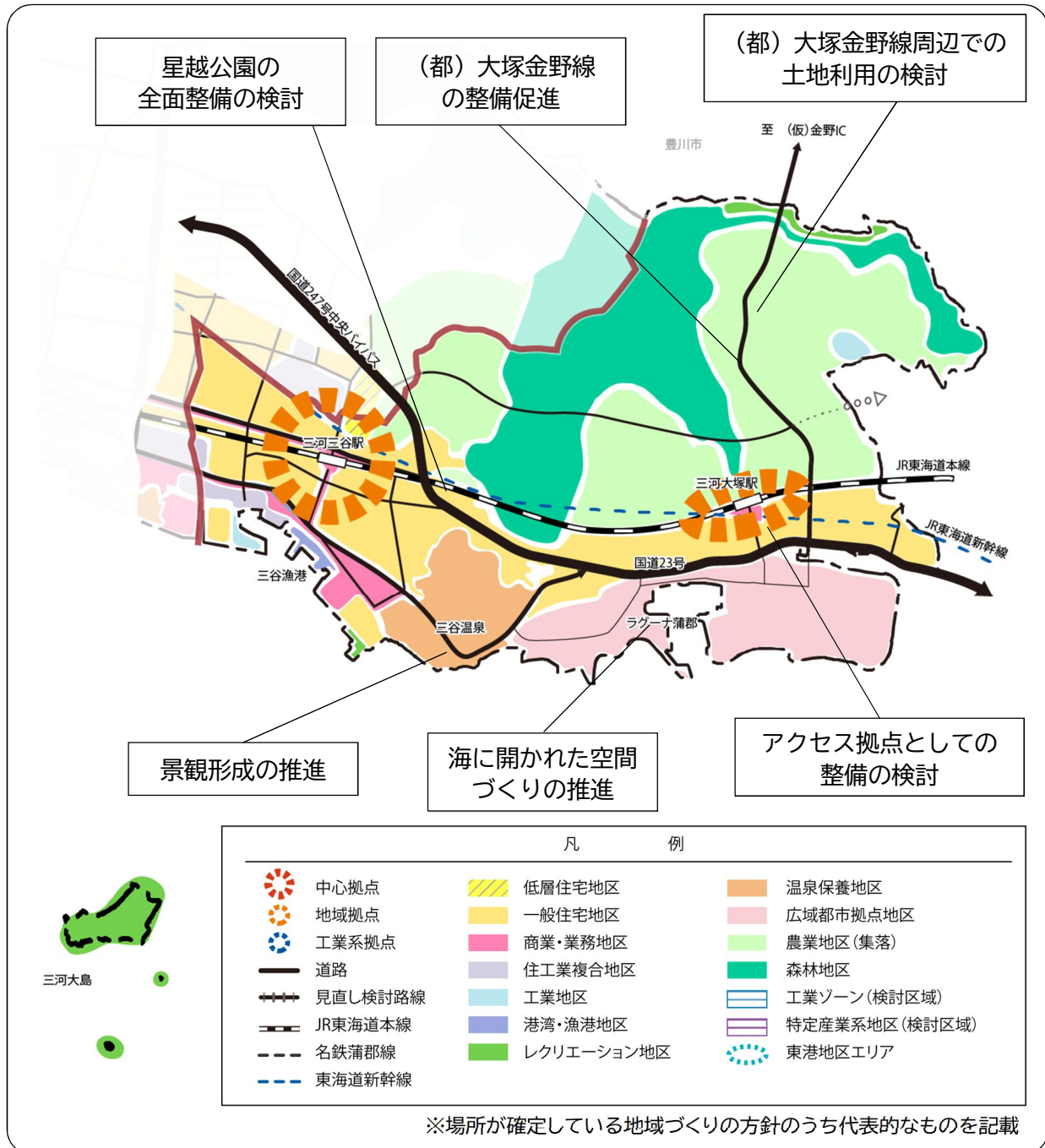
④都市防災

- ・ラグーナ蒲郡、三谷漁港周辺は、防災機能を備えた施設の整備・向上を推進します。

地域別構想（蒲郡東部地域）

- ・三谷漁港周辺は、津波や高潮などの被害軽減に向け、各施設の改良・補強などの整備を促進します。

■蒲郡東部地域 まちづくり構想図



3-2 蒲郡中部地域

（1）地域の概要

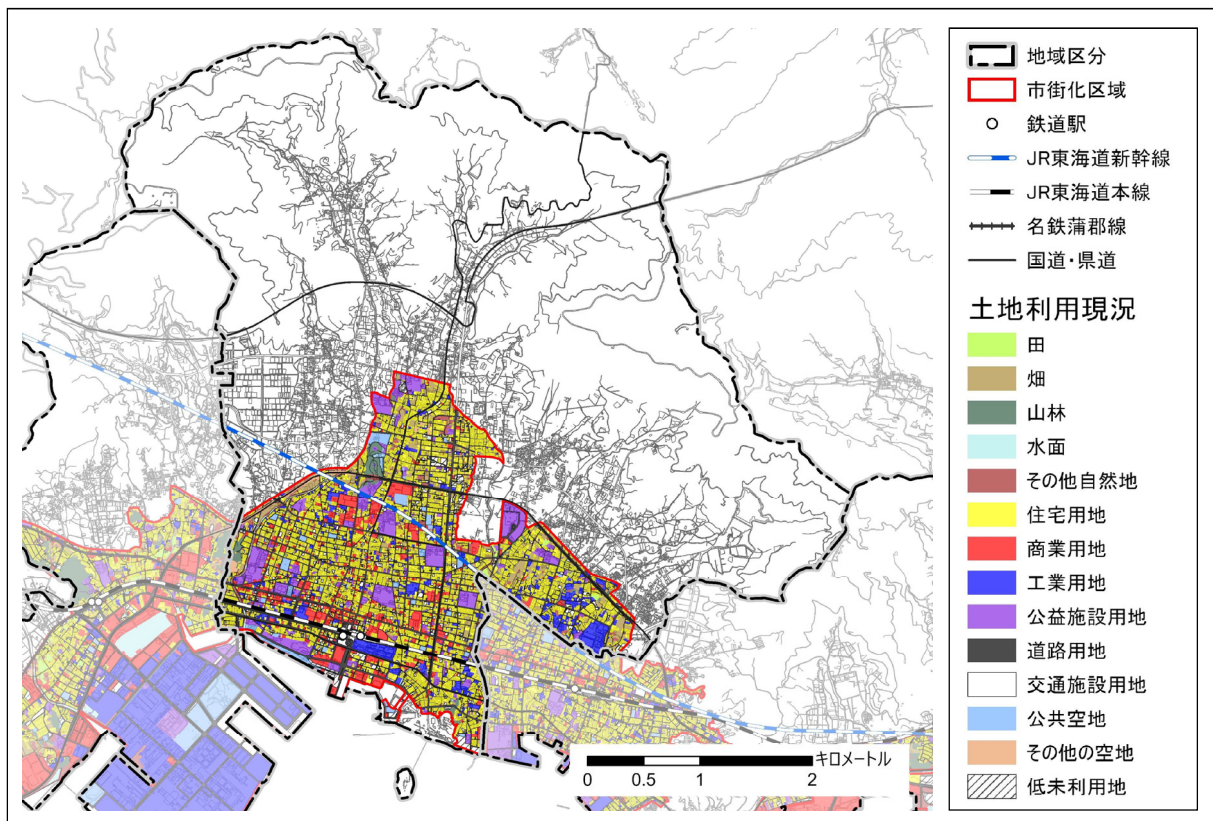
市役所や図書館、市民会館などの市の基幹的な公共施設などが立地する、本市の中心拠点となる蒲郡駅周辺地域を含む地域です。

三河湾オレンジロードにより東名高速道路音羽蒲郡インターチェンジと結ばれているほか、国道23号蒲郡バイパス蒲郡インターチェンジがあり、広域的な自動車交通の利便性も高い地域です。

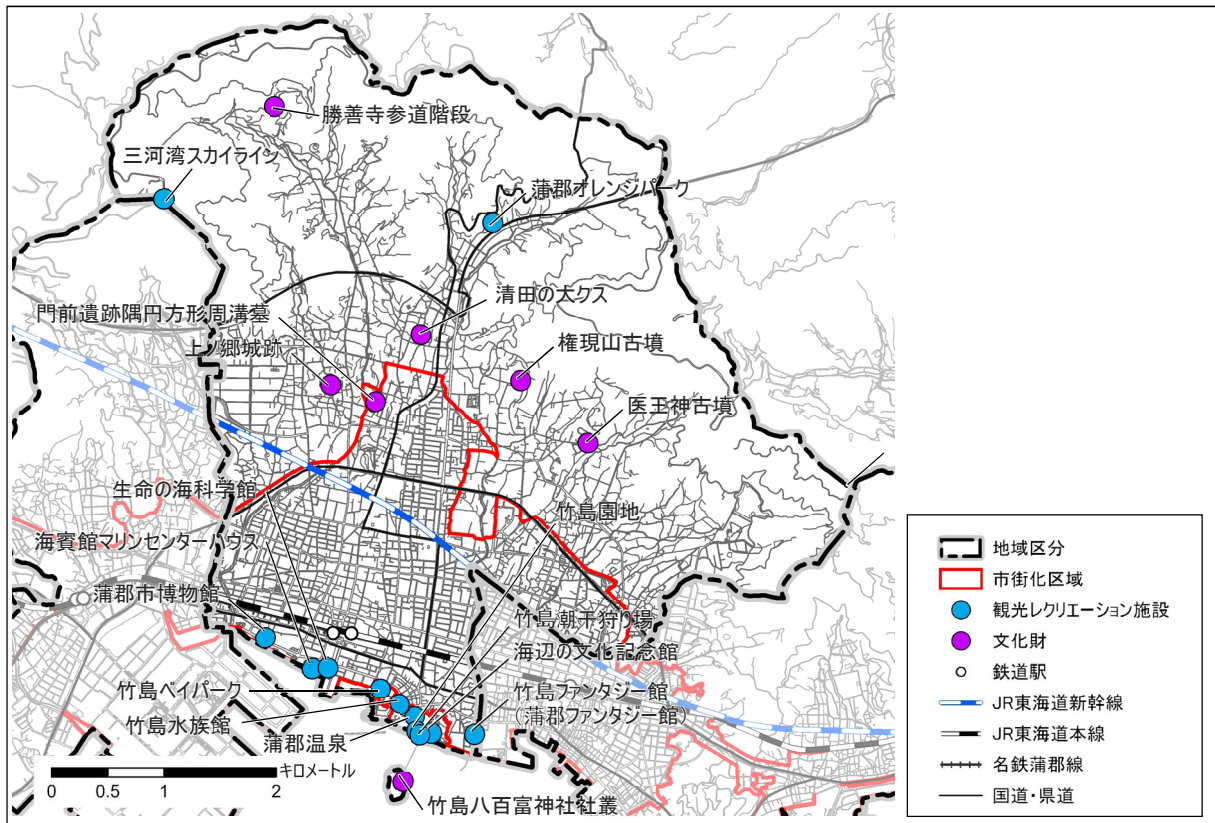
また、南部には、竹島を始めとして、竹島水族館や竹島園地など、市を代表する観光資源が豊富な地域です。



■土地利用現況図



■主な地域資源



（２）地域で誇りに思う「モノ」や「コト」

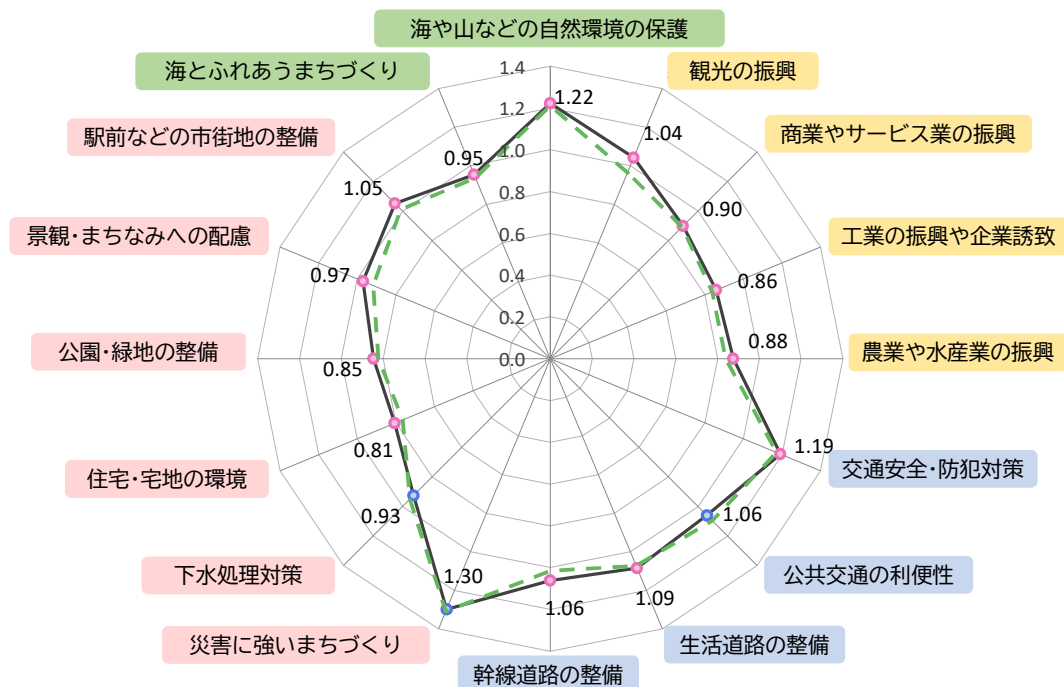
- ・豊かな自然環境（海・山）、竹島
- ・蒲郡まつり（花火大会）や八百富神社例大祭といった文化資源
- ・静かでのどかな環境
- ・交通の便の良さ

資料：令和３年度蒲郡市のまちづくりに関するアンケート

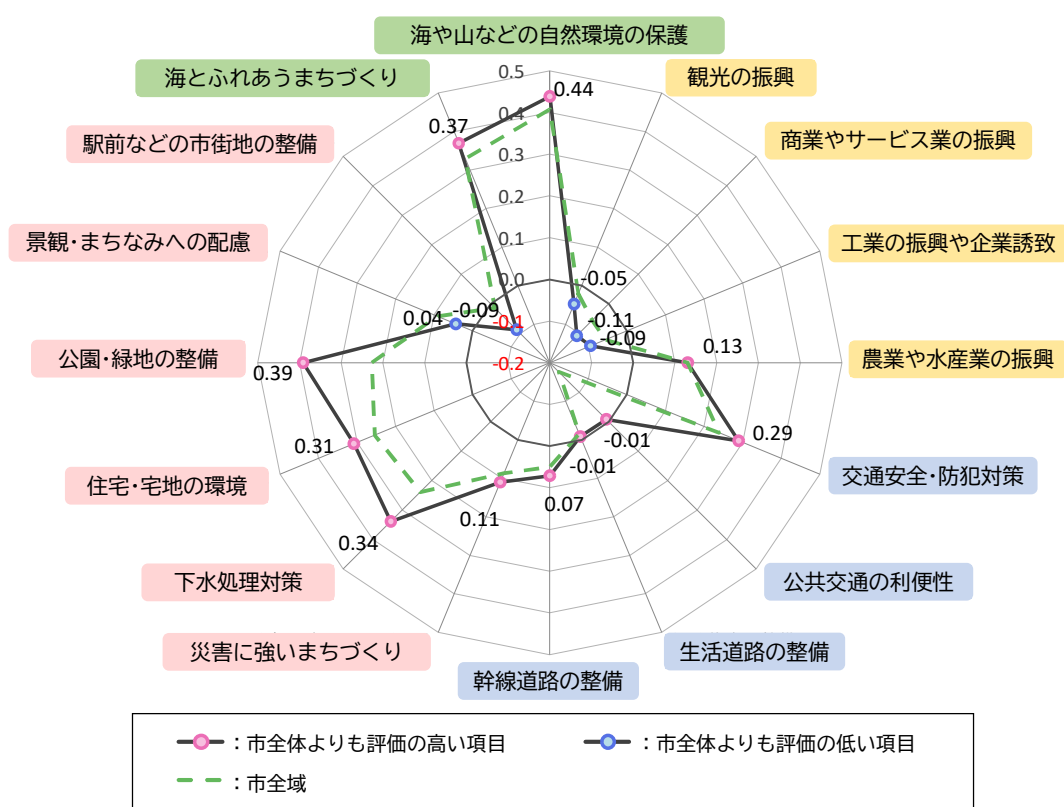
（３）市民ニーズ

- ・市全体と比較して、「幹線道路の整備」や「公共交通の利便性」といった交通に関する満足度が高くなっています。
- ・市全体と比較して、「公園緑地の整備」や「住宅・宅地の環境」、「下水処理対策」といった市街地整備に関する満足度が高くなっています。

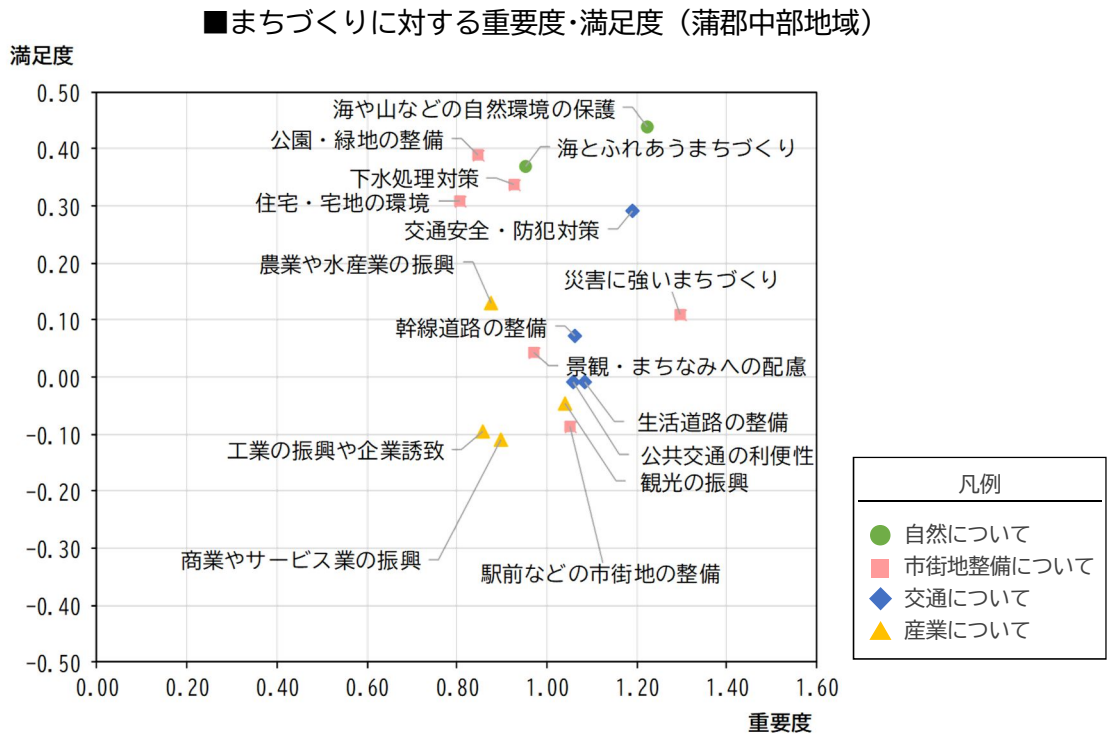
■まちづくりに対する重要度（市全体との比較）



■まちづくりに対する満足度（市全体との比較）



資料：令和２年度蒲郡市市民意識調査



※まちづくりに対する重要度・満足度の値の算定方法は、資料集（第3章）を参照

（4）地域の課題

地域の特徴のうち、全体構想で掲げたまちづくりの目標に対して、プラスの要素を地域の強み、マイナスの要素を地域の弱みとしてとらえたうえで、この地域での課題を設定します。

地域の強み	地域の弱み
・市の基幹的な都市機能が集積 ・竹島や水族館、竹島園地、蒲郡温泉などの観光資源が豊富 ・蒲郡駅、国道23号蒲郡バイパス蒲郡インターチェンジがあり、広域交通の利便性が高い ・土地区画整理事業などによる良好な居住環境	・蒲郡駅北側での建物の老朽化の進行 ・駅前などの市街地の整備、観光振興に対する市民満足度の低さ ・国道23号蒲郡バイパス蒲郡インターチェンジ周辺道路や国道23号、蒲郡駅周辺道路の混雑

地域の課題
・市の中心部である蒲郡駅周辺の活性化 ・豊富な観光資源の有効活用 ・広域道路網の有効活用、混雑緩和

（５）地域づくりの目標

地域の概要・市民ニーズ・課題を踏まえて、地域づくりの目標を設定します。

●市の中心拠点周辺における良好な都市空間の形成

- ・蒲郡駅周辺では、基幹的な都市機能や公共交通が身近にある利便性を活かし、市民の生活を支え、都市の顔となる快適な都市空間を創出します。

●多世代が交流でき、憩える場の整備

- ・蒲郡駅南側に広がる海沿いの空間や多様な地域資源を活かして、市民や観光に訪れる人が長時間滞在できる快適な空間を整備します。

●高い交通利便性を活用した産業の振興

- ・広域的な幹線道路をはじめとする交通軸を活用し、周辺環境との調和に十分配慮した産業などの立地を促進します。

（６）地域づくりの方針

目標達成へ向けた、この地域で固有の取り組みを方針として設定します。

①土地利用

- ・蒲郡駅周辺は、本市の中心拠点として、民間活力の導入や公共施設の再編を視野に入れ、商業・業務、観光、生涯学習などの多様な機能の集積を図るとともに、まちなか居住を促進する市街地整備を推進します。
- ・ゆとりのある居心地のよい都市空間を創出するため、民間の事業用地においても誰もが過ごせるオープンスペースの確保を促進します。
- ・竹島ふ頭周辺の臨海部は、蒲郡駅周辺の市街地と観光施設が集積する竹島周辺とつながりのある“みなと”の交流拠点として、市民や来訪者が日常的に利用できる憩いの場となり、賑わいのある空間形成を促進するため、適切な土地利用規制の設定を検討するとともに、民間活力の導入を含めた整備を推進します。
- ・土地の有効利用と良好な居住環境の整備を図るため、土地区画整理事業を推進します。
- ・住工混在が顕著な区域については、住工隣接による利便性にも配慮しつつ、居住環境・操業環境双方の改善につながる取り組みを検討します。
- ・蒲郡インターチェンジ周辺については、自然環境の保全及び地域との調和に配慮した工業的土地利用と必要に応じた土地利用規制について検討を行います。

- ・国道 247 号中央バイパス沿線の蒲郡市民病院や市街地に隣接した自然的土地利用がされている地域については、周辺の居住・自然環境の保全及び地域との調和に配慮した、業種を限定した工業的土地利用を検討します。あわせて必要に応じた土地利用規制についても検討を行います。

②都市交通

- ・市内の交通渋滞を緩和し、産業経済活動の持続的な活性化を図るため、広域的な幹線道路である(都)名豊道路(国道 23 号蒲郡バイパス)の事業主体である国と協力し、令和 6 年度の全線開通を促進します。
- ・(都)名豊線(国道 247 号中央バイパス)、(都)竹谷丸山線(国道 23 号)の整備を促進するとともに、(都)蒲郡環状線などの整備を推進し、市街地内外の交通を円滑に処理する幹線道路ネットワークの形成を図ります。
- ・本市と東名・新東名高速道路を連絡する路線について、関連自治体と連携した整備促進に向けた取り組みを検討します。
- ・蒲郡駅の駅前広場や(都)蒲郡港線などのゆとりのある歩道空間において、駅を利用する人、地域に暮らす人、まちを訪れる人が歩いて過ごせる日常の空間としての活用を促進するとともに、活用に応じた再整備について検討します。
- ・蒲郡駅から竹島周辺については、日常的に過ごすことができる居心地の良い空間の形成につながる主要回遊動線を検討します。
- ・名鉄蒲郡線について、関連自治体・事業者などと緊密な連携を図り、名鉄西尾線とあわせた運行継続に向けた取り組みを推進します。
- ・交通空白地を解消する取り組みについて、地元地域と連携し推進します。またすでに実施している地域については、さらなる利便性向上に向けた検討を行います。

③都市環境

1) 公園緑地

- ・蒲郡中部土地区画整理事業区域内における、公園緑地の整備を推進します。
- ・市街地の公園については、地域住民の緑化意識やまちづくりへの参画意識の高揚を図りつつ、行政と地域住民の協働により維持・管理を推進します。
- ・竹島、蒲郡温泉周辺は、海と調和した憩いの場を創出するため、臨海部における緑地の整備を検討します。

2) 河川

- ・落合川、西田川については、洪水や高潮による水害から人命や財産を守りつつ地域住民が安心して暮らせるよう、水害に対して安全であるとともに都市の生活にうるおいと安らぎを与える川づくりを促進します。

3) 下水道

- ・下水道整備については、現在整備中の市街地での整備に努めます。
- ・城山ポンプ場について、設備更新とのバランスを考慮しながら、耐水化の推進や能力・機能向上を図ります。

4) その他都市施設

- ・蒲郡駅南の臨海部は、既存施設などを有効活用し、居心地のよい海辺のまちづくりを牽引するエリアとしての施設整備を検討します。

5) 景観形成

- ・竹島周辺の観光地では、自然環境の保全に努めるとともに、市を代表する観光地として良好な景観形成に努めます。
- ・蒲郡温泉周辺地区においては、公共施設整備における景観への配慮を含めた、景観向上に向けた取り組みを推進するとともに、都市的土地利用の進捗にあわせた景観形成の取り組みを検討します。

④都市防災

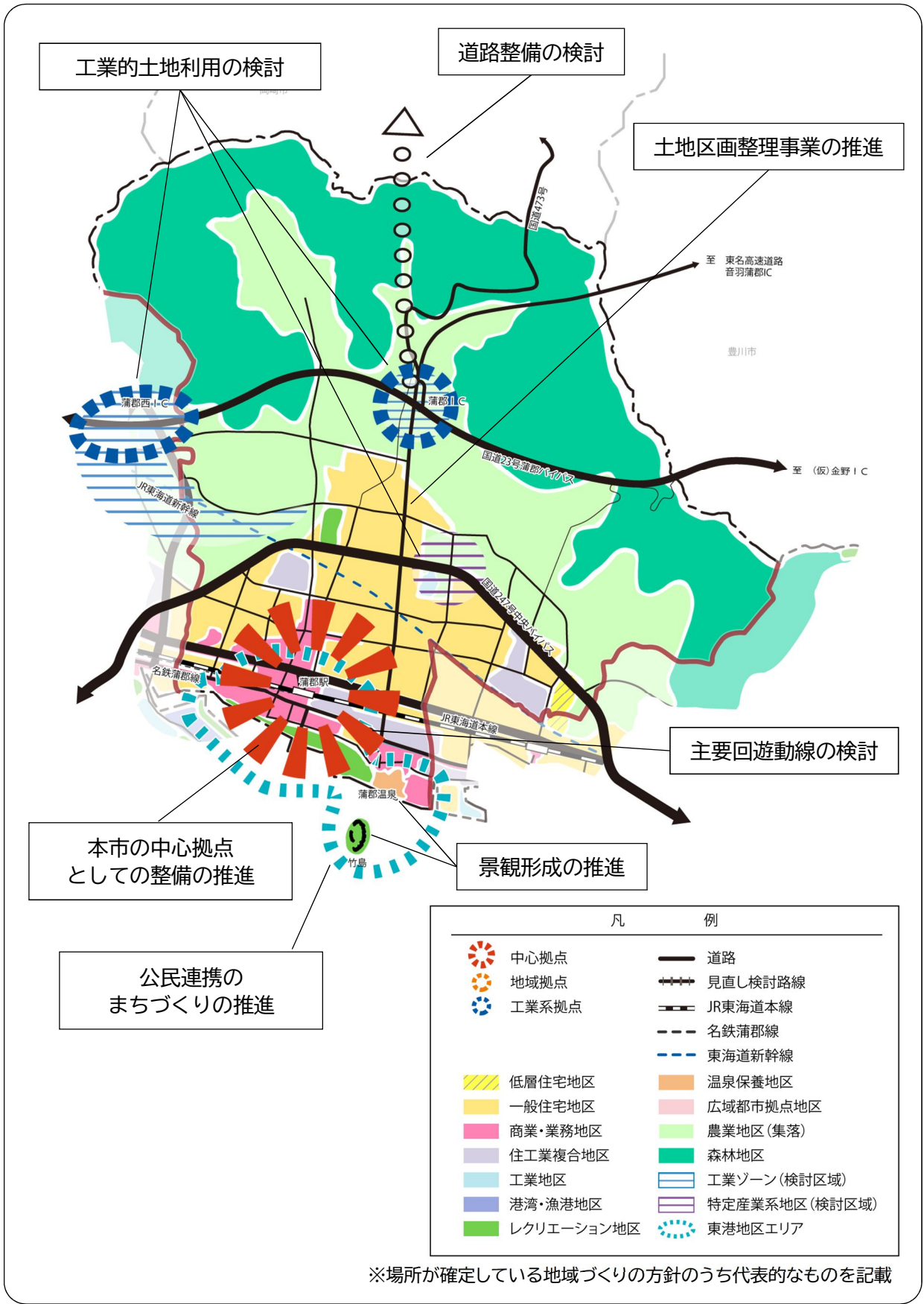
- ・蒲郡駅南の埋立地については、防災機能の整備・向上を推進します。
- ・津波や高潮の際に背後地の安全性を確保するため、堤防の耐震化を促進します。

(7) 東港地区の地域づくりの方針

- ・歩道や広場、港などのあらゆる公共空間を市民などの主体による賑わいづくりの場として積極的に活用する公民連携のまちづくりを推進します。
- ・あらゆる人にとって日常的に使い続けていける空間が形成されるよう、公民連携のまちづくりの主体となる市民などともに計画づくりを進めます。
- ・港を中心とした公共用地の土地利用について、民間資金の活用検討に向けた官民対話に取り組みます。
- ・今後、まちづくりを検討していく上で、海辺の良好な景観形成に努めます。

地域別構想（蒲郡中部地域）

■蒲郡中部地域 まちづくり構想図



3-3 蒲郡中西部地域

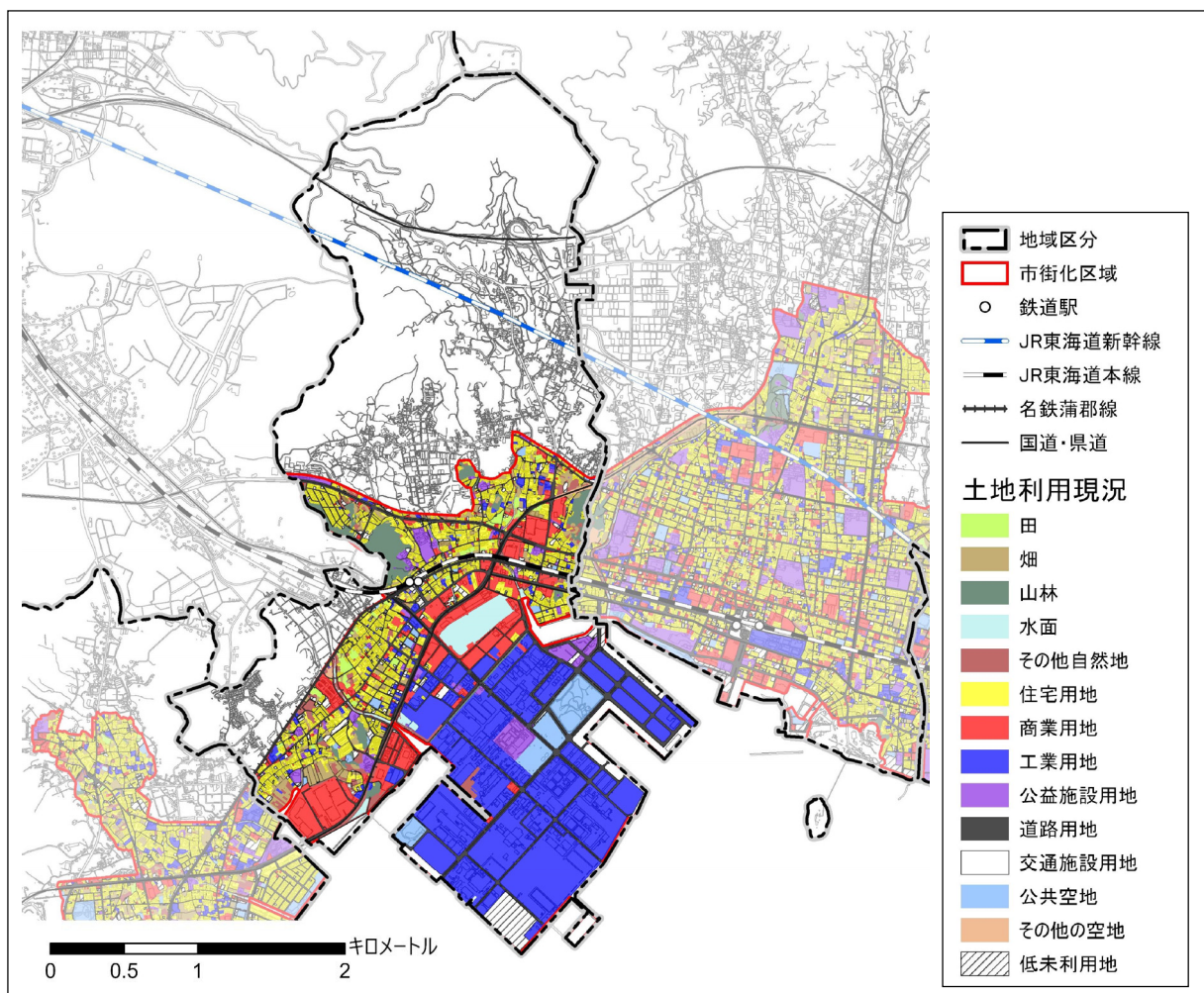
（1）地域の概要

三河湾に面した臨海部では、本市の産業を支える工業団地が形成されているほか、国道 23 号蒲郡バイパス蒲郡西インターチェンジ周辺において工業立地が進んでいます。

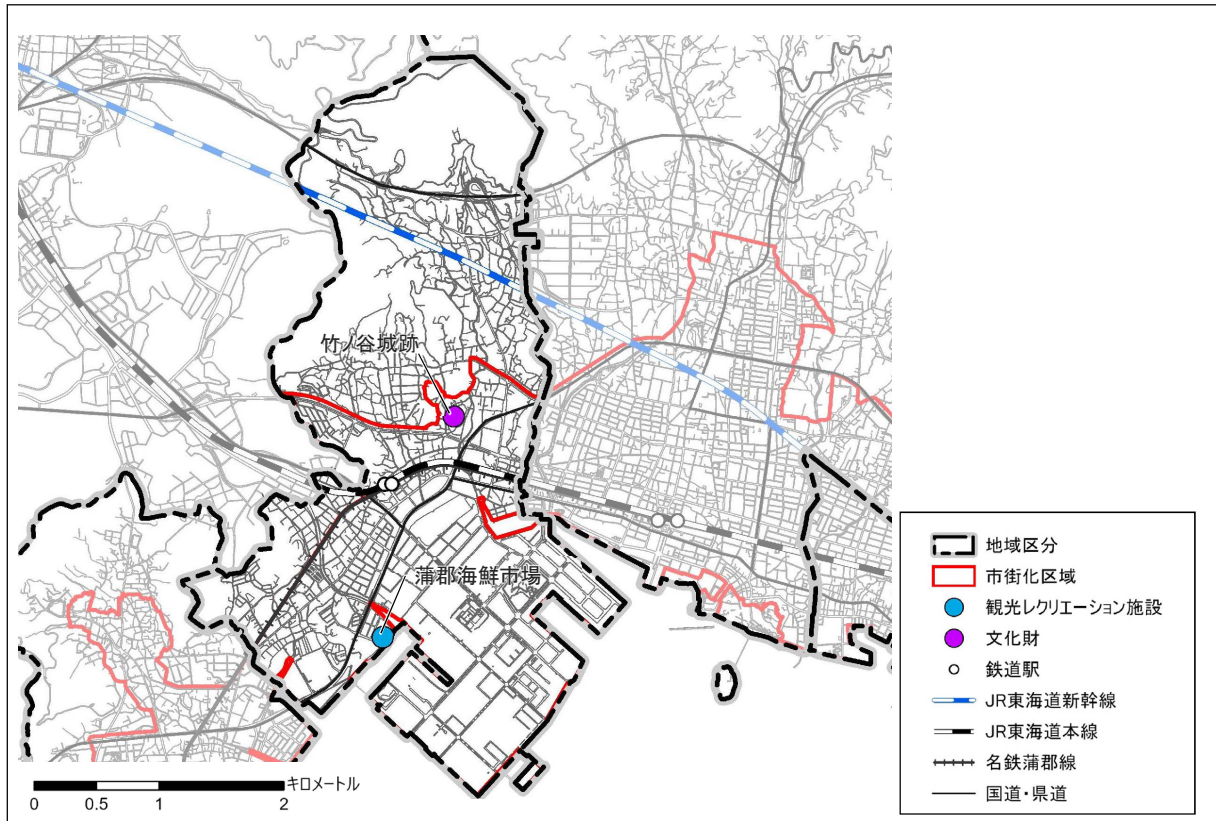
また、国道 247 号周辺には、大規模商業店舗やボートレース蒲郡が立地しており、工業・商業が活発な地域です。



■土地利用現況図



■主な地域資源



（２）地域で誇りに思う「モノ」や「コト」

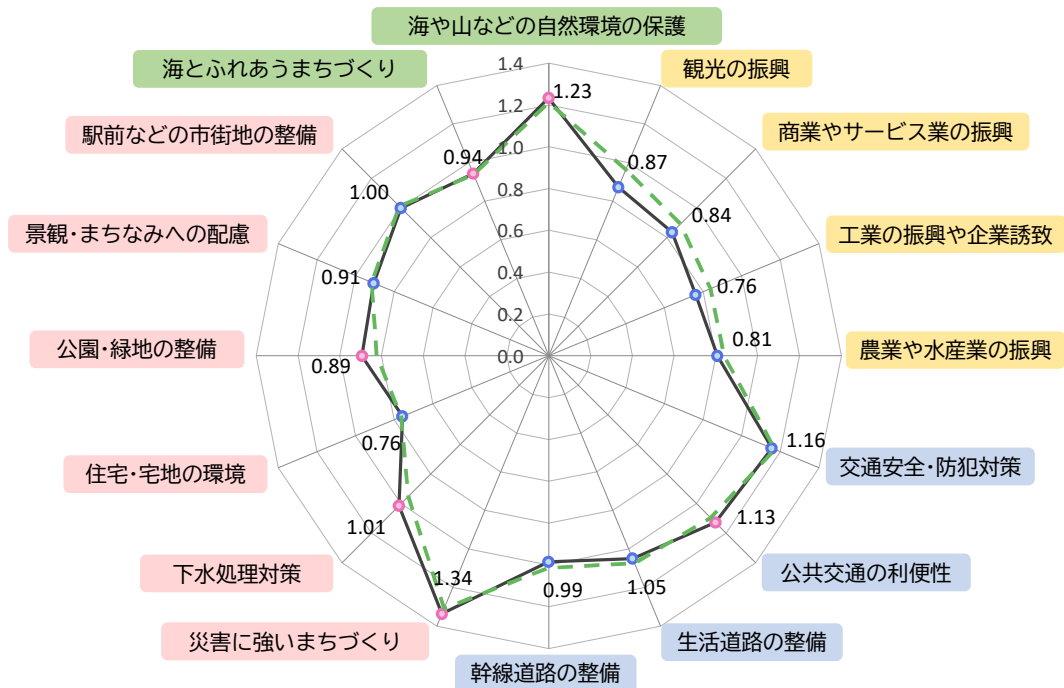
- ・豊かな自然環境（海・山）
- ・静かでのどかな環境
- ・交通の便の良さ
- ・地域活動が活発
- ・住民同士の繋がり

資料：令和３年度蒲郡市のまちづくりに関するアンケート

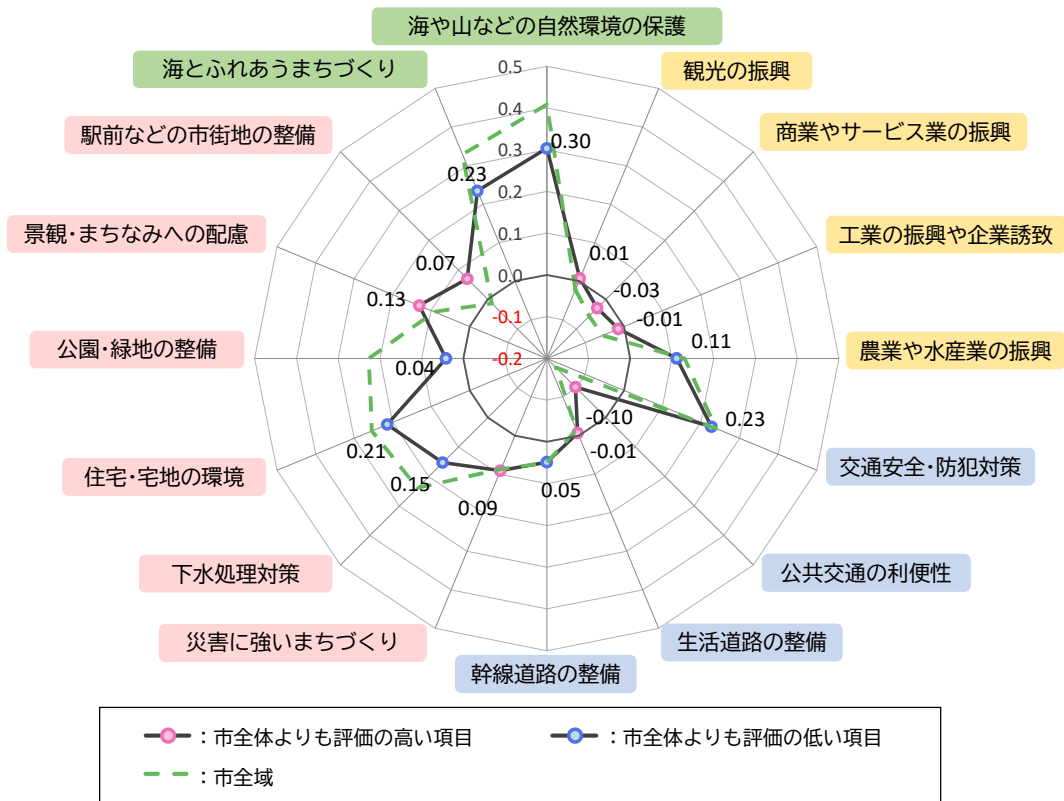
（３）市民ニーズ

- ・市全体と比較して、「商業やサービス業の振興」や「工業の振興や企業誘致」といった産業に関する満足度が高くなっています。
- ・市全体と比較して、「公園・緑地の整備」や「住宅・宅地の環境」、「下水処理対策」といった市街地整備に関する満足度が低くなっています。

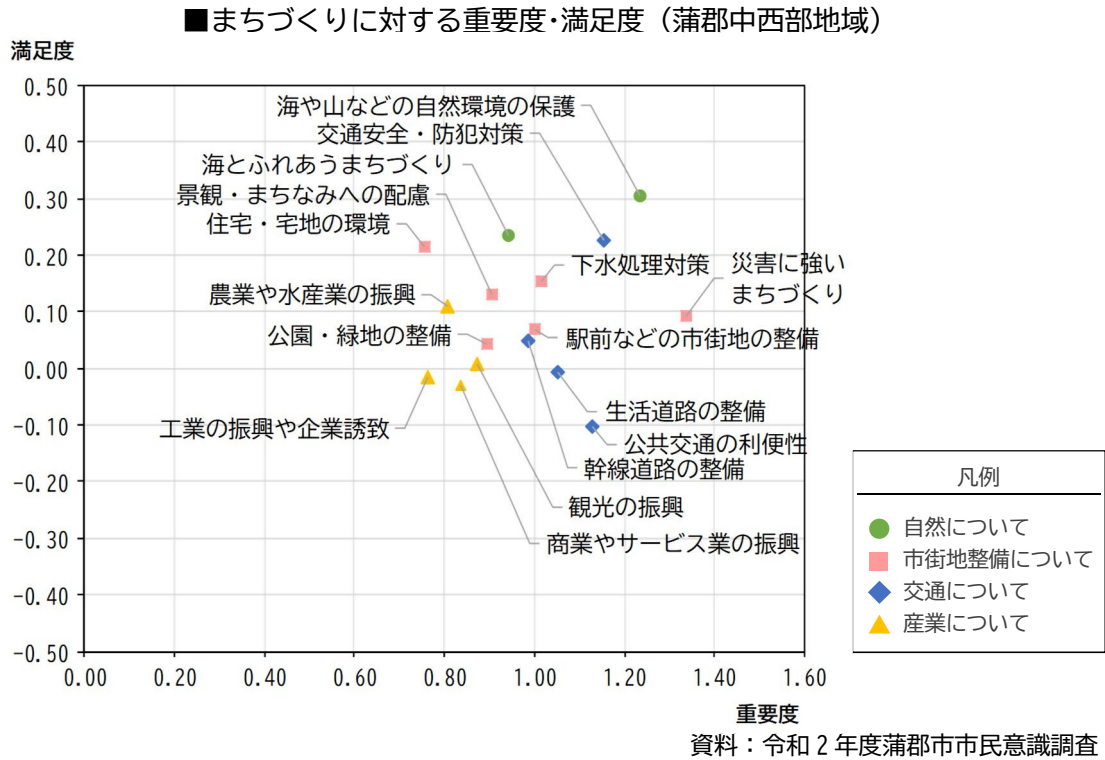
■まちづくりに対する重要度（市全体との比較）



■まちづくりに対する満足度（市全体との比較）



資料：令和２年度蒲郡市市民意識調査



※まちづくりに対する重要度・満足度の値の算定方法は、資料集（第3章）を参照

（4）地域の課題

地域の特徴のうち、全体構想で掲げたまちづくりの目標に対して、プラスの要素を地域の強み、マイナスの要素を地域の弱みとしてとらえたうえで、この地域での課題を設定します。

地域の強み	地域の弱み
・ 臨海部と内陸部にまとまった工業団地が形成 ・ 規模の大きい商業施設や遊興施設が立地 ・ 国道23号蒲郡バイパス、国道247号及び248号といった幹線道路が整備されている	・ 鉄道駅周辺に低未利用地が分布 ・ 国道247号での混雑 ・ 都市施設に関する満足度が低い

地域の課題
・ 低未利用地の有効活用 ・ 大規模な商業系施設や工業団地の活用 ・ 生活環境の整備・改善

（５）地域づくりの目標

地域の概要・市民ニーズ・課題を踏まえて、地域づくりの目標を設定します。

●快適に生活できる住環境づくり

- ・既存の公園緑地の機能更新や身近な緑の活用などにより、快適に生活できる住環境づくりを目指します。

●蒲郡市をけん引する工業団地の操業環境の向上

- ・浜町の工業団地の蒲郡航路や関連施設の施設整備、国道 23 号蒲郡バイパス蒲郡西インターチェンジ周辺の幹線道路網の形成などにより操業環境の向上を図ります。

●充実した商業機能を活用した賑わいづくり

- ・商業施設などの円滑な利用環境の確保や、更なる都市機能の立地を図ります。

（６）地域づくりの方針

目標達成へ向けた、この地域で固有の取り組みを方針として設定します。

①土地利用

- ・各鉄道駅周辺については、居住や周辺住民が利用する商業・業務施設の立地を促進する取り組みを進めます。
- ・浜町のうち、新たな国際・国内海上輸送に対応した物流ゾーン形成に向けた取り組みを促進する区域や拡大する工業用地については、必要な土地利用規制を設定します。また、既存工業用地や緑地などについても、計画的な土地利用に資する土地利用規制の変更が必要であれば、それを検討します。
- ・蒲郡西インターチェンジ周辺については、自然環境の保全及び地域との調和に配慮した工業的土地利用と、必要に応じた土地利用規制について検討を行います。

②都市交通

- ・（都）名豊線（国道 247 号中央・鹿島バイパス）、（都）竹谷柏原線、（都）西尾線などの整備を促進し、市街地内外の交通を円滑に処理する幹線道路ネットワークの形成を図ります。
- ・名鉄蒲郡線について、関連自治体・事業者などと緊密な連携を図り、名鉄西尾線とあわせた運行継続に向けた取り組みを推進します。
- ・（都）拾石竹谷線については、整備の実現性も踏まえた路線の必要性を検討したうえで、関連自治体とも調整し、見直しを検討します。
- ・港湾からの輸送ルートとなる緊急輸送道路の整備などを総合的に促進します。

③都市環境

1) 公園緑地

- ・低未利用地における面的な都市的土地利用が進む場合には、事業地の周辺地域にも配慮した公園緑地の設置について、事業者や地元地域の住民などと連携しながら、確保を促進します。

2) 港湾・漁港・海岸施設

- ・蒲郡をはじめ三河港の背後に位置する工業地帯の国際競争力強化や有事の救援物資輸送経路確保のため、蒲郡航路の整備、大型船用岸壁、耐震岸壁、防波堤などの施設整備を促進します。

3) 河川

- ・拾石川については、洪水や高潮による水害から人命や財産を守りつつ地域住民が安心して暮らせるよう、水害に対して安全であるとともに都市の生活にうるおいと安らぎを与える川づくりを促進します。

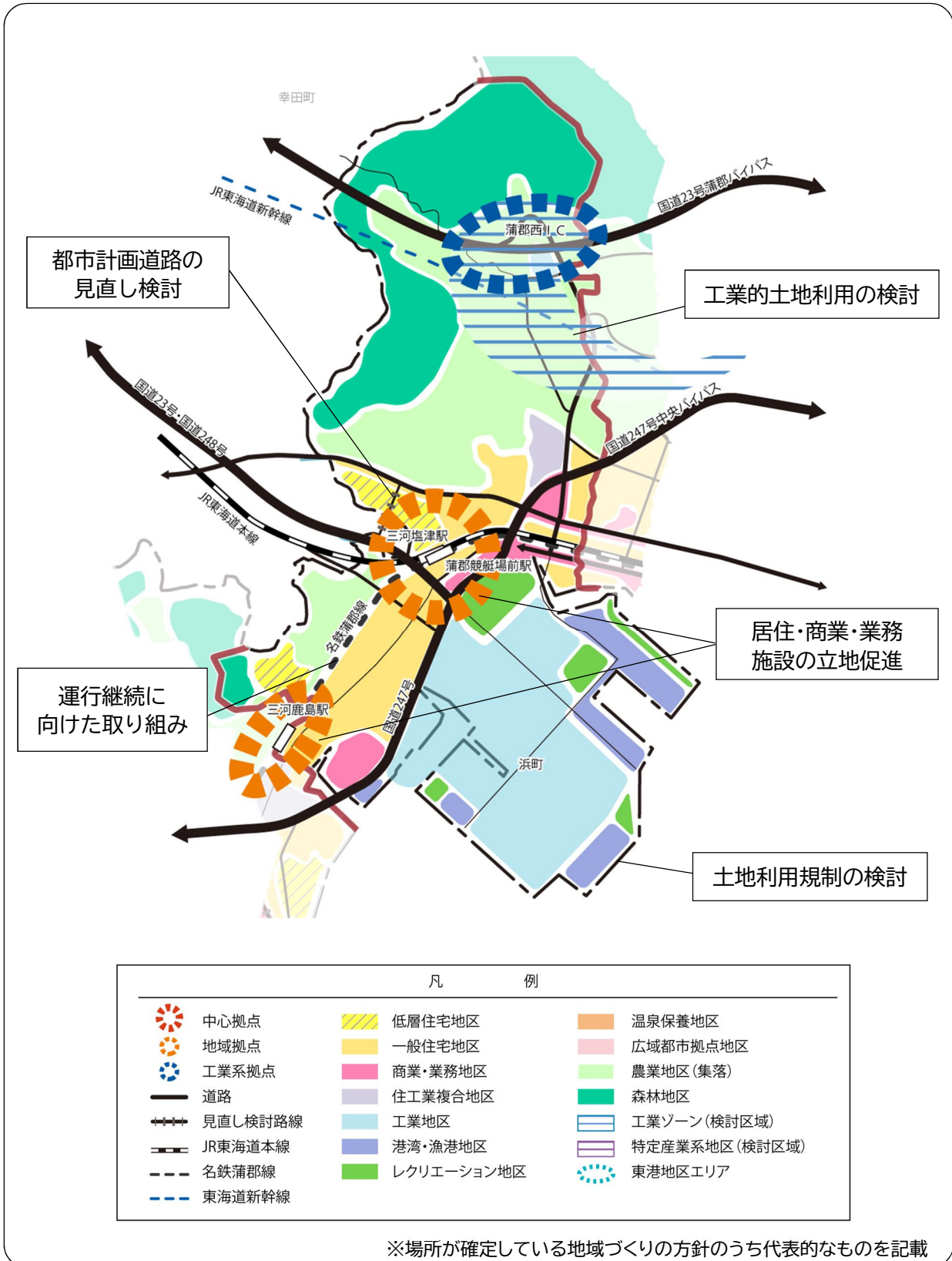
4) 下水道

- ・下水道整備については、現在整備中の市街地での整備に努めます。
- ・下水道浄化センターについては、汚水流入量に対する適正な施設規模・能力の確保や耐震化を図ります。

④都市防災

- ・浜町周辺の埋立地については、防災機能の整備・向上を推進します。
- ・緊急輸送道路の渋滞対策として、（都）名豊線(国道 247 号鹿島バイパス)と三河鹿島駅周辺を連絡する道路の整備を推進します。

■蒲郡中西部地域 まちづくり構想図



3-4 蒲郡西部地域

（1）地域の概要

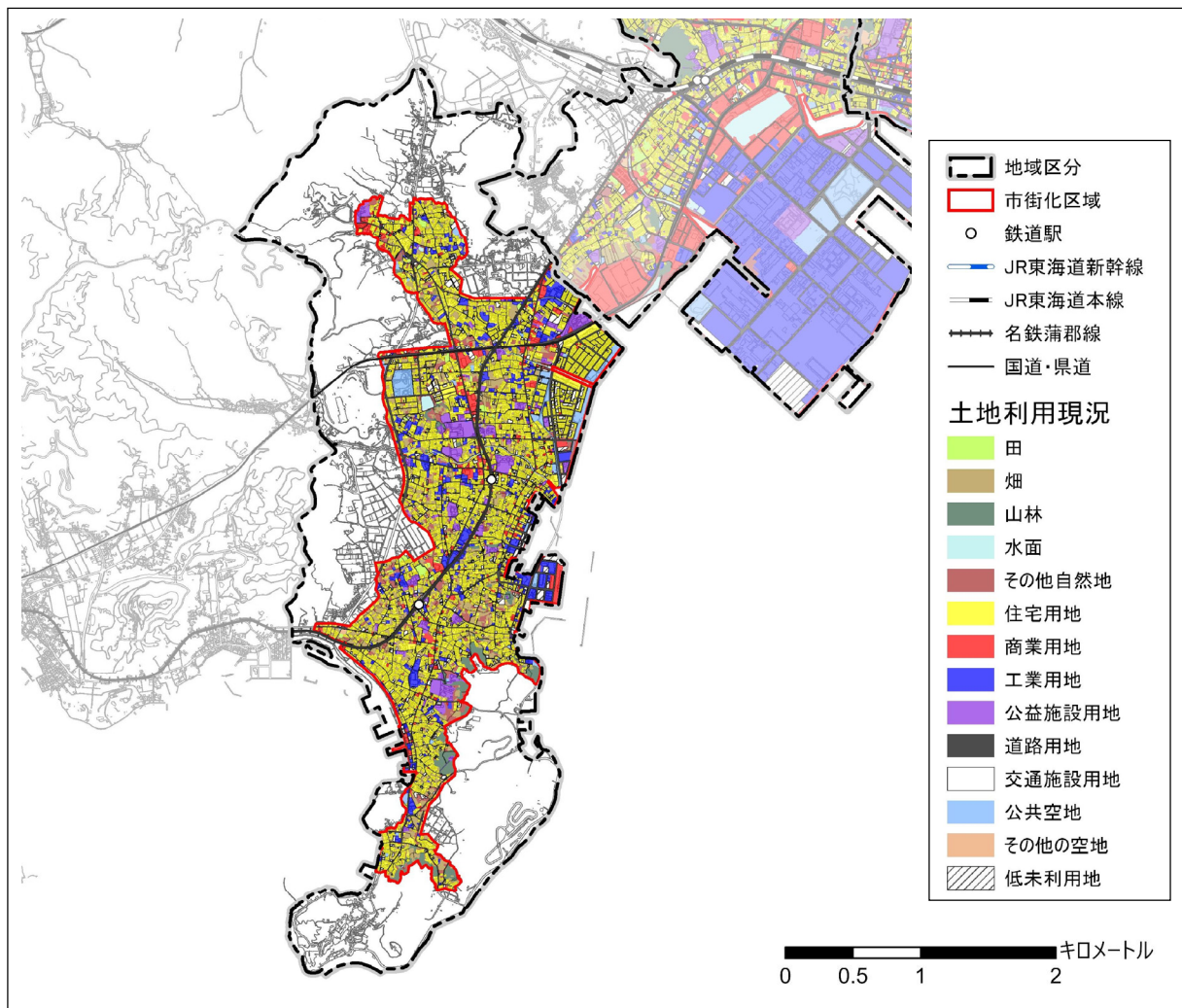
市の西部に位置しており、地域の東部と南部が三河湾、北部と西部が山に囲まれた、自然の豊かな地域です。

漁港や魚市場、潮干狩りのできるスポットが多く、市の中でも特に水産業が盛んで、形原温泉、西浦温泉といった観光資源もあります。

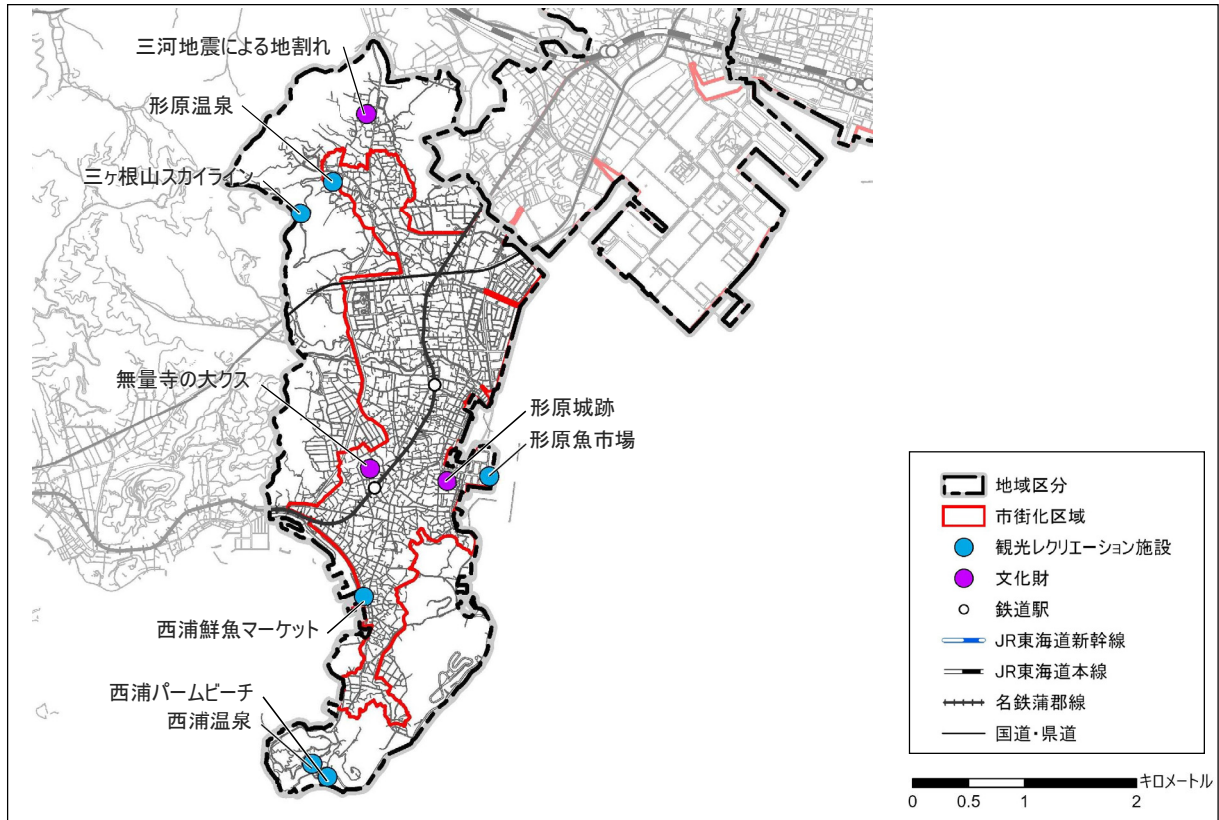
また、住宅用地の中に比較的小規模な工場が立地する特徴的な市街地が形成されています。



■土地利用現況図



■主な地域資源



（２）地域で誇りに思う「モノ」や「コト」

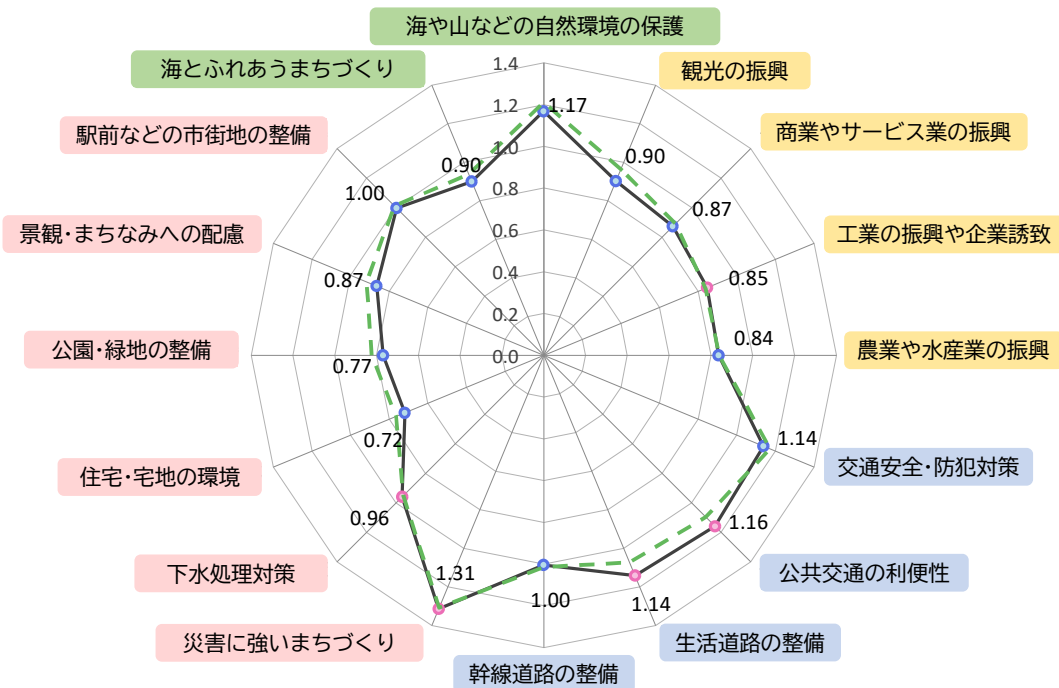
- ・ 自然環境（海・山など）、自然景観
- ・ 静かでのどかな環境
- ・ 伝統芸能（チャラボコ）
- ・ 海鮮・海産物

資料：令和３年度蒲郡市のまちづくりに関するアンケート

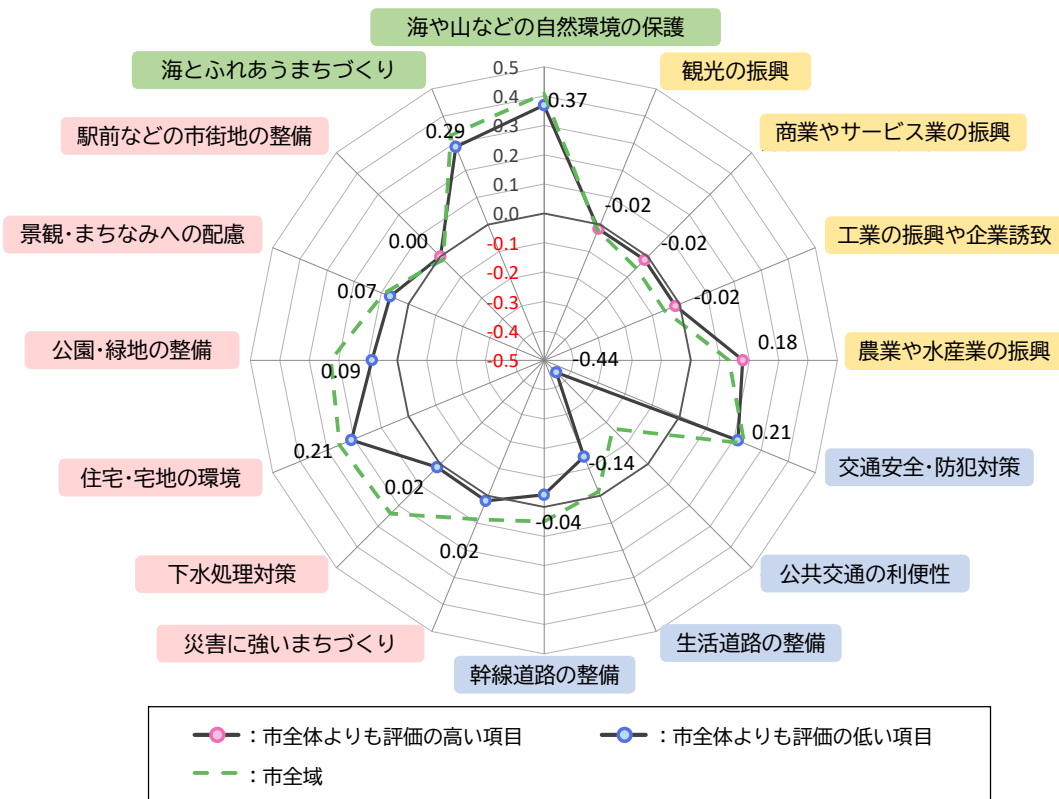
（３）市民ニーズ

- ・市全体と比較して、「海や山などの自然環境の保護」や「海とふれあうまちづくり」の重要度・満足度が低くなっています。
- ・市全体と比較して、「公共交通の利便性」の重要度が高い一方で、満足度が低くなっています。

■まちづくりに対する重要度（市全体の比較）

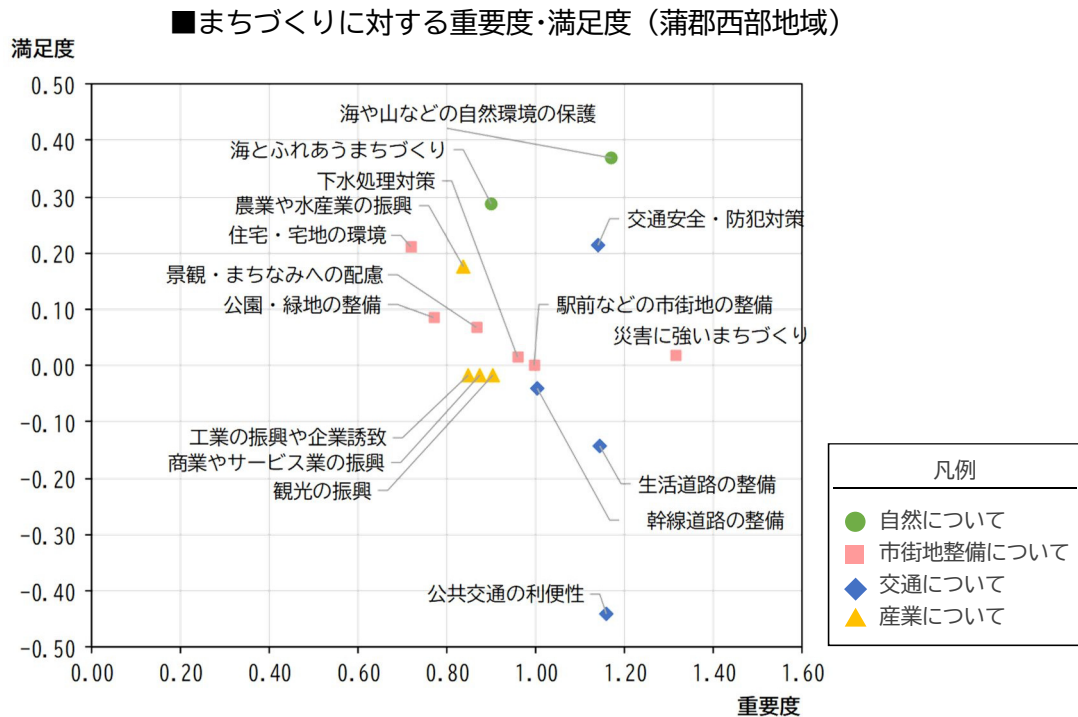


■まちづくりに対する満足度（市全体の比較）



資料：令和２年度蒲郡市市民意識調査

地域別構想（蒲郡西部地域）



資料：令和2年度蒲郡市市民意識調査

※まちづくりに対する重要度・満足度の値の算定方法は、資料集（第3章）を参照

（4）地域の課題

地域の特徴のうち、全体構想で掲げたまちづくりの目標に対して、プラスの要素を地域の強み、マイナスの要素を地域の弱みとしてとらえたうえで、この地域での課題を設定します。

地域の強み	地域の弱み
・温泉、漁港や市場、モーターパークなど、多様な観光資源が立地 ・地域内に都市機能施設がある程度集積している	・西浦駅周辺に細かな低未利用地が分布 ・老朽化した建物が多い ・都市施設に関する満足度が低い
地域の課題	
・多様な集客機能を活用した地域経済の活性化 ・低未利用地の有効活用 ・生活環境の整備・改善	

（５）地域づくりの目標

地域の概要・市民ニーズ・課題を踏まえて、地域づくりの目標を設定します。

●駅周辺での都市機能や住宅の立地促進

- ・駅周辺の低未利用地の活用や公共施設の再編などにより、駅周辺への住宅や都市機能の立地を促進します。

●良好な居住環境と町工場の操業環境の両立

- ・住工混在地区では、建物の立地動向を踏まえながら、良好な住環境や工場の操業環境の両者にとって良好な都市空間を検討します。

●自然・温泉・港などの連携による賑わいの創出

- ・地域の自然環境や温泉地、漁港・港湾との連携を図り、新たな賑わい創出を目指します。

（６）地域づくりの方針

目標達成へ向けた、この地域で固有の取り組みを方針として設定します。

①土地利用

- ・各鉄道駅周辺については、居住や周辺住民が利用する商業・業務施設の立地を促進する取り組みを進めます。
- ・形原駅周辺の住工混在が顕著な区域については、住工隣接による利便性にも配慮しつつ、居住環境・操業環境双方の改善につながる取り組みを検討します。
- ・形原温泉周辺は、自然環境を活かした季節を感じる温泉保養ゾーンとしての機能強化を、西浦温泉周辺は、臨海部や自然景観を活かした温泉保養ゾーンとしての機能強化を推進します。
- ・西浦駅周辺の市街地については、道路・公園などの都市施設の整備改善や低未利用地の解消につながる取り組みを検討します。
- ・知柄漁港の低未利用地については、漁業施設用地や地場産業を中心とした産業活性化のための土地利用を検討します。
- ・春日浦地区においては、適切な法的規制の活用により良好な居住環境と都市景観の保全を推進します。

②都市交通

- ・地域の幹線道路となる（都）形原西浦線、（都）形原線、（都）南湿見三浦町線については、整備の実現性も踏まえた路線の必要性を検討したうえで、見直しを検討します。
- ・児童・生徒の安全確保のため、通学路での安全確保の取り組みを検討します。

- ・名鉄蒲郡線について、関連自治体・事業者などと緊密な連携を図り、名鉄西尾線とあわせた運行継続に向けた取り組みを推進します。

③都市環境

1) 公園緑地

- ・形原神社周辺は、かすがの森として自然環境や地域の個性を活かした空間の形成に向けて、市民と行政の協働による整備を推進します。
- ・形原温泉周辺の緑地は、季節を感じる花や緑の整備を推進します。

2) 港湾・漁港・海岸施設

- ・形原漁港、知柄漁港、倉舞港については、個々の個性を活かした商業・観光・港湾空間としての整備を促進します。
- ・倉舞港は、利用者の安全性・利便性を確保するため、港湾施設の保全を推進します。

3) 河川

- ・準用河川、普通河川については、良好な河川環境を維持するため、草刈りや堆積土砂の浚渫を推進します。また、流下能力が不足する区間については河川整備を推進します。

4) 下水道

- ・下水道整備については、現在整備中の市街地での整備に努めます。
- ・春日浦ポンプ場は、老朽化への対応や、能力・機能向上を図ります。

5) その他都市施設

- ・廃棄物の適正処理のため、広域化や共同化を踏まえつつ、蒲郡市クリーンセンターの改良事業を推進します。

6) 景観形成

- ・形原温泉周辺は、緑の保全・整備を図りつつ秩序ある魅力的な景観形成を推進します。
- ・西浦温泉周辺は、海の眺めと、海からの眺めに配慮した表情豊かな景観形成を推進します。
- ・臨海部においては、海の眺めを活かした良好な都市景観・水辺景観の形成を図ります。

④都市防災

- ・形原漁港、知柄漁港、倉舞港周辺は、液状化の危険性を踏まえた施設の整備・誘導を図るとともに、津波や高潮などの被害軽減に向けた各施設の改良・補強などの整備を推進します。

■蒲郡西部地域 まちづくり構想図

